

教育ファーム（農作業体験）の効果について

対 象・取組主体		効 果
個人	子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・「作物」を作ることの大変さや命あるものの大切さの理解。 ・物事に対する計画的な作業の重要性の認識やそれを達成する喜びの体感と自信へのつながり。 ・豪雨や台風、干ばつなど人の力を越えた抗うことの困難な自然の力に対する理解。 ・作物の育成や食品への加工を通じた自ら考える力や好奇心の醸成とそれによる探求心と学習力の向上。 ・農作業で協力し合い、話し合うことを通じた友達づくりとお互いを高めあう関係づくり ・育成した農作物の販売を通じた「社会的な成果」を得ることの体感や経済価値に対する理解。 ・食べものに対する感謝の念やもったいないと思う心の醸成（食べものをめぐる状況の理解、食べ残しの減少等）。
	保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・親が子どもから学ぶ場の創出。 ・育成した作物又は家禽等を食することを通じた命と向かい合う機会の創出（人や、生き物に対して思いやる心の醸成）。
	農林漁業者	<ul style="list-style-type: none"> ・食の安全性を考える機会の創出 ・農業や地産地消の大切さを理解してもらえる機会の創出 ・非農家・都市住民との交流を通じた消費者との顔の見える関係の構築 ・後継者の育成
共同体	家族・家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・食の安全性を考える機会の提供 ・親と子のコミュニケーションの場の提供と、それを通じた親子間の理解の促進。 ・地元の農産物（食材）や伝統食、食文化やふるさとに対する再認識。 ・親同士のつながりを通じたコミュニケーションの場の拡大
	学校	小・中学校 幼稚園・保育園 高校・大学 <ul style="list-style-type: none"> ・自ら学び自ら考える力の育成（「子ども」欄に掲げた効果を付与させることが可能）
	地域	公民館・自治会 老人会・商店街 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の中での人と人との協力、連帯感の構築 ・世代間の交流や非農家・都市住民との交流。 ・地域が持つ自然の豊かさや恩恵の実感。 ・生き甲斐ややすらぎ、癒しの場、高齢者の活躍の場の創出。
行政（推進主体）		<ul style="list-style-type: none"> ・地域農業の活性化と豊かな生活・地域づくり
	・農林水産担当	<ul style="list-style-type: none"> ・地域農業・農村の活性化や後継者の育成確保 ・農業・農村の持つ多面的機能に対する理解の促進
	・農業委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地の拡大防止や耕作放棄地の有効利用
	・教育担当	<ul style="list-style-type: none"> ・健全な子どもの育成や親子関係の形成
	・環境担当	<ul style="list-style-type: none"> ・自然景観や生物多様性の保全
	・厚生担当	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りの活躍・生きがいの場の確保
	・企画担当	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館活動などの地域コミュニティの活発化

：北陸ブロック教育ファーム推進協議会における「教育ファーム」とは、種苗を植え、育成して収穫し、食べるまでの一連の作業に取り組むことを基本として考える。